

平成20年2月吉日

《 第10回勉強会 ワークショップのご案内 》

日本化粧品技術者会 大阪支部
幹事長 柴山 裕治
委員長 吉井 隆

いつも日本化粧品技術者会大阪支部の活動にご参加頂き有難うございます。
今年度の勉強会は、『高齢化社会に向けて』というテーマのもと、美容皮膚・製剤・原料の面から展開しました前回に続き、今回はメイクアップにフォーカスした勉強会を計画しました。まず、フェイシャルセラピストのかづきれいこ氏を講師に迎え、高齢化社会に則したメイクアップデモとご講演を頂き、後半は業界の方々より、製剤(ファンデーション・フェイスメイク)と素材(表面処理顔料粉体技術)についてのご講演を頂きます。より一層、知識を深めて頂くことを目的に企画致しましたので、どうぞ、奮ってご参加頂きますよう、お願い致します。

記

日 時:平成20年3月26日(水) PM 12:30 受付 3F ロビーにて

場 所:大阪薬業年金会館(地下鉄谷町線 谷町6丁目駅 C 階段4番出口 スグ)
ワークショップ 3F ホール PM1:30~PM5:35
情報交流会 401・402室 PM5:45~PM7:00

スケジュール

1. 1:30~1:40 開会の挨拶

2. 1:40~3:10

フェイシャルセラピスト 歯学博士 かづき れいこ氏
「顔と心と体について」

<15分休憩>

3. 3:25~4:25

日本光研工業株式会社 開発センター 技術顧問 無類井 行男 氏
「女性の肌状態とメーキャップの仕上がり効果」

化粧品は科学技術や生活環境の発展に伴ってヒトの生活の中で重要な分野を開いてきている。ヒトの寿命も伸び、日本でも高齢化社会となっている現在、より若々しくありたいとの要望は化粧品開発の最大のテーマにもなっている。メーキャップ化粧品は加齢に伴う皮膚の変化の機序に関わる直接的な効果はないが、外見的・心理的な面で大きな効果を有している。化粧の効果に関わる基本的な肌状態について形態的な要因・色彩的な要因の2点から仕上がりへの効果をアプローチしてみた。特に肌の形態としてのきめ・毛穴への対応、色彩として肌色分析、くすみ対応を中心にまとめ、基本的な考え方、素材について私見を報告します。

4. 4:25~5:25

大東化成工業株式会社 常務取締役 研究開発・製造担当 田中 巧 氏

「表面処理顔料粉体の機能性とそのメーキャップ化粧料への応用とポイントメーキャップ化粧料について」
メーキャップ化粧料に利用される顔料粉体は着色材料として、また、化粧料の構造を形成する上で非常に重要な役割を果たしている。しかし、これらの主となる無機酸化物粉体はその表面の親水性である特徴により、あるいは、その高い活性により、油への分散性がよくなかったり、耐水性に劣ったりという問題があった。これらを解決するために、あるいはまた、その感触を整えるという意味で、顔料粉体の表面処理はメーキャップ化粧料に非常に有効な技術である。これらの表面処理顔料粉体技術の応用、ポイントメーキャップ化粧料の原料などについて講演します。

5. 5:25～5:35 閉会の挨拶

6. 5:45～7:00 情報交流会

参加費:会員・会員代理 : 5,000円

※ 先着、定員130名となり次第、締め切りとさせていただきます。

申込方法:下記申込書を **FAX にて** 3月14日(金)までに下記宛にお願い致します。

※ 参加証等は発行致しませんが、当日、受付にて参加者名を確認させていただきます。

送金方法:参加費は前納とし、支部名義の下記口座に3月14日(金)までにお振込み願います。
尚、振込料は各自でご負担下さい。

口座名:三井住友銀行 大阪中央支店 普通 No.145680
日本化粧品技術者会 大阪支部 会計 立岡 寛次(ツオカ カンジ)

※ できるだけ多くの会員企業の方々から参加して頂きたいので、
定員のためお受けできない場合は、FAX か Mail にてご連絡致しますのでご了承下さい。

問合せ先:日本化粧品技術者会 大阪支部 事務局

〒541-0045 大阪市中央区道修町1-7-11 岩瀬コスファ(株)内

TEL 06-6231-3459 FAX06-6231-5769 E-mail:osaka@sccj-ifsc.com

以上

申込み先:日本化粧品技術者会 大阪支部 事務局 中野 宛 FAX 06-6231-5769

平成20年3月26日(水)第10回勉強会 ワークショップ 参加申込書

月 日

社名・所属	TEL FAX
氏名	MAIL
社名・所属	TEL FAX
氏名	MAIL